

釧路森林資源活用円卓会議（第2回 川上部会）について

1. 開催日時 平成24年2月3日（金） 午後3時～5時
2. 開催場所 交流プラザさいわい 大ホール
3. 参加人数 委員9名、オブザーバ6名、事務局5名
4. 会議の概要
 - ・ 地域特性に応じた森林施業とコスト削減策などを検討する「川上部会」の第2回目。
 - ・ 今回のテーマは、「くしろ木づなプロジェクトの実施状況」についての説明、「地域材利用に向けた川上側からのアプローチ(イベントでの普及)」、「GIS等新たな技術の活用」など
5. 会議での意見等
 - ・ 「木づなプロジェクト」でも、普及啓発イベントに取り組んでいくことはよいのではないかと。
 - ・ 森林から伐採された間伐木を丸太にして展示する場合、単に丸太を並べるのではなく、その後の使い道と対比できるような展示方法の検討がなされているとよいのではないかと。
 - ・ 高性能林業機械に導入されている、GISを普及・定着させるためには、基盤情報がしっかりしている必要がある。
 - ・ 事業者でGPSを使用する場合、位置そのものの確認に使用する場合もあるが、機械の軌跡を確認することもある（個々の機械の動きを把握することができる）
 - ・ 導入したGPS等については、地域での利用が出来るよう、有効に活用してほしい。
 - ・ 今後の地域のカラマツ資源を有効に活用するためには、伐期についても検討する必要があるのではないかと（長伐期にしても価格形成がなされないなら、短伐期での利用の方がよいのでは）。
 - ・ 山持ち(森林所有者)にお金が返る仕組みを確立していく必要がある。今まで山づくりをしてきた、高齢の方にも還元できればよい。



室内での会議の様子



大澤部会長により討議進行